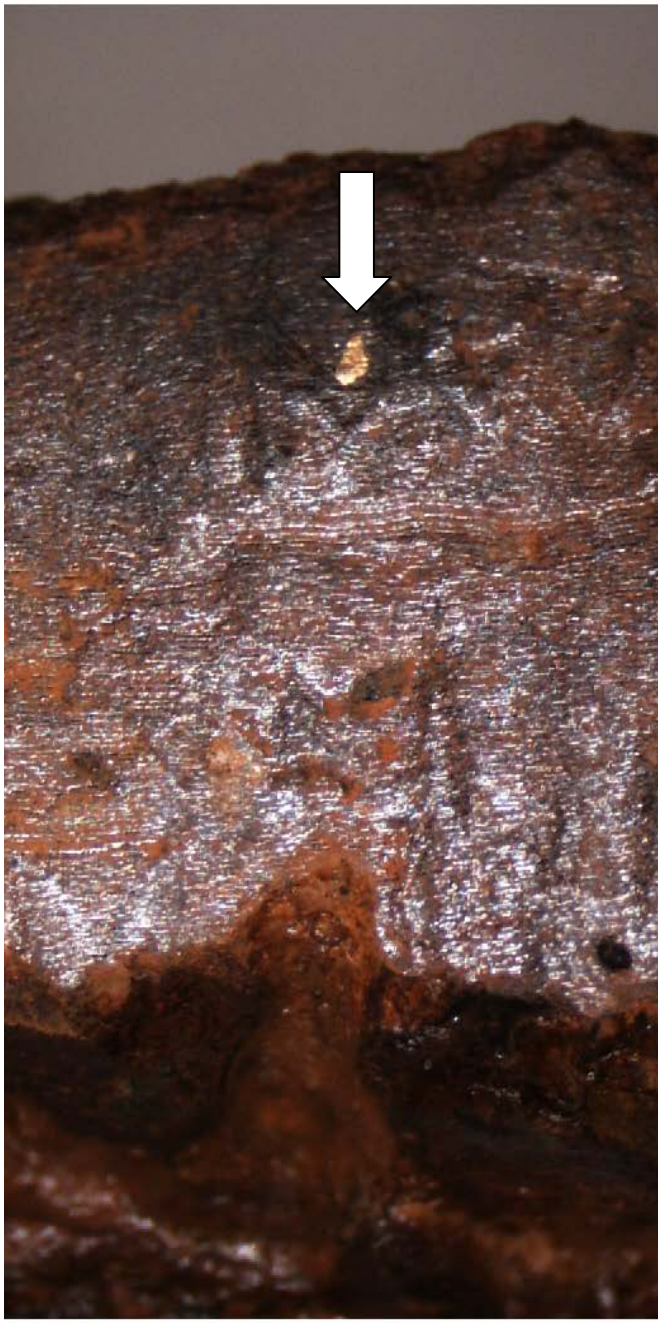
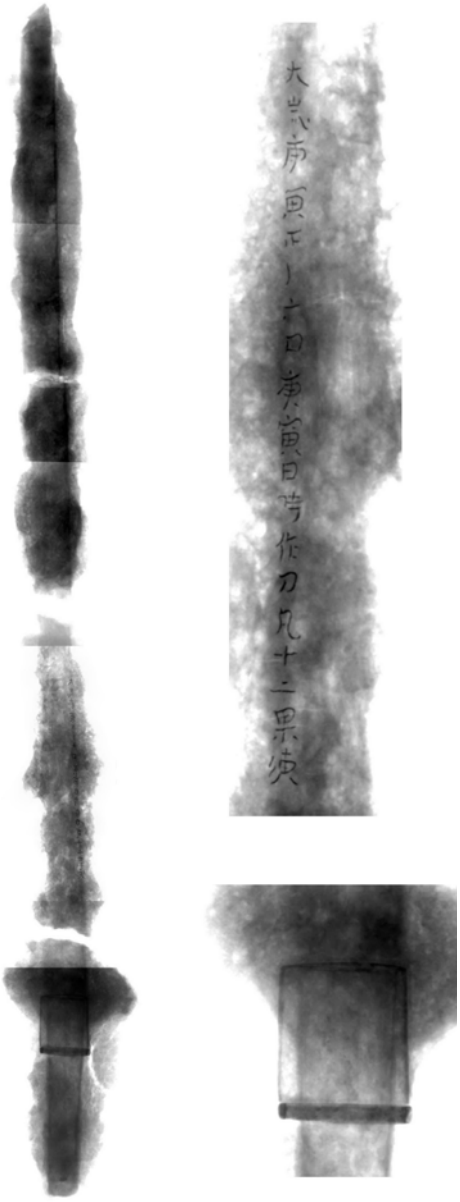
平成24年度福岡市発掘調査

総まくり





元岡G－６号墳出土銘文大刀は
金象嵌（左写真矢印の先）だった！

福岡市文化財部

本書に掲載した主な発掘調査

1　元岡・桑原遺跡群
2　徳永B遺跡
3　女原笠掛遺跡
4　大塚遺跡
5　飯盛瓦経塚
6　金武古墳群D群
7　有田遺跡群
8　藤崎遺跡
9　鴻臚館跡・福岡城跡
10　博多遺跡群

そのほかの発掘調査

11　周船寺遺跡
12　今宿五郎江遺跡
13　吉武遺跡群
14　城ノ原遺跡
15　原遺跡
16　井尻B遺跡
17　比恵遺跡群
18　那珂遺跡群
19　笹原遺跡
20　板付遺跡
21　麦野C遺跡
22　雑餉隈遺跡

縄文時代

元岡・桑原遺跡群第58次調査

西区大字元岡地内

元岡・桑原遺跡群は、福岡市の西方、糸島半島の南東部の丘陵地帯にあり、九州大学統合移転用地として、発掘調査が進んでいます。今回の調査では、約8000年前から1万年前の縄文時代のはじめ頃（草創期～早期初頭）の人々の生活の跡（遺構）や土器・石器などの遺物が発見されました。特に、石を組み合わせて作った炉（石組炉：いしぐみろ）が発見されました。残念ながら住居の跡は発見されませんでしたが、今後の出土遺物の整理に期待されます。

この時代は、現在より平均気温が2～3℃低く、当時の海岸線は現在より40m以上低く、10km以上沖合にあったと考えられており、当時はずいぶんと海岸線から遠い場所でした。

調査区全景

8000年前頃の石組炉

9000年前頃の縄文土器

弥生時代

大塚遺跡第18～21次調査

西区大字大塚地内

大塚遺跡は、JR今宿駅南西側に広がる海に近い遺跡で、過去に溝に囲まれた弥生時代の集落が発見されました。この弥生時代の集落からは、朝鮮半島系の土器や青銅器が出土しており、弥生時代の朝鮮半島との交流を考える上で重要な遺跡です。今回の調査でも弥生時代の住居跡などが見つかりました。特記すべき遺物として、詳細な時期はわかりませんが、青銅製の勾玉が2点出土しました。青銅製勾玉は全国で4例しか出土していない、大変貴重なものです。

第18次調査区全景

第18次調査区の竪穴住居跡。白い線が住居跡で、周りに円形の溝を掘っている。

第18次調査区の深い溝の土層の状況

青銅製勾玉の出土状況（上）と勾玉2点

弥生時代

藤崎遺跡第37次調査

早良区高取2丁目

藤崎遺跡は、地下鉄藤崎駅の周辺に広がる遺跡です。海から風で砂が運ばれて形成された砂丘の上に営まれた遺跡です。弥生時代前期（西暦前400年頃）から古墳時代前期（西暦300年頃）の各種の墓が築かれています。これまでの調査では、弥生時代の甕棺が数百基の他、古墳時代初め頃の墓（方形周溝墓）が10基以上見つかり、青銅製の鏡などが出土しています。今回の調査では、弥生時代の甕棺（かめかん）墓が17基、石棺墓が1基、古墳時代の方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ：墓本体の周囲に溝を巡らせた墓）1基が見つかりました。

発掘調査区全景

人骨が残っていた甕棺

石で囲われた棺（石棺）

いろいろな甕棺

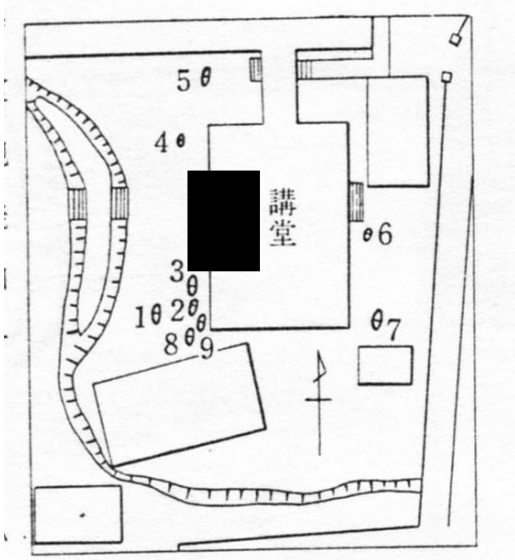
弥生時代

有田遺跡群第246次調査

早良区有田2丁目

有田遺跡群は、早良平野の北部の有田・小田部・南庄一帯にある独立した台地の上にあり、旧石器時代から現代まで人々が連綿と生活を営んだことが分かっている遺跡です。今回の調査地点（講倫館高校内）は、昭和24年に発掘調査が行われ、甕棺（かめかん）の中から、日本最古の絹が付着した銅戈（か：武器の一種）が出土しました。今回の調査では、青銅器は出土しませんでしたが、前回の甕棺群から連なる甕棺7基と木棺墓1基が出土しました。

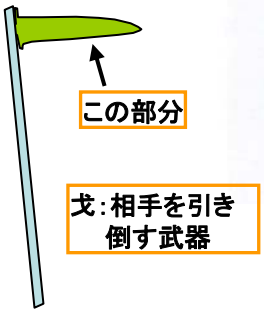
発掘調査区全景

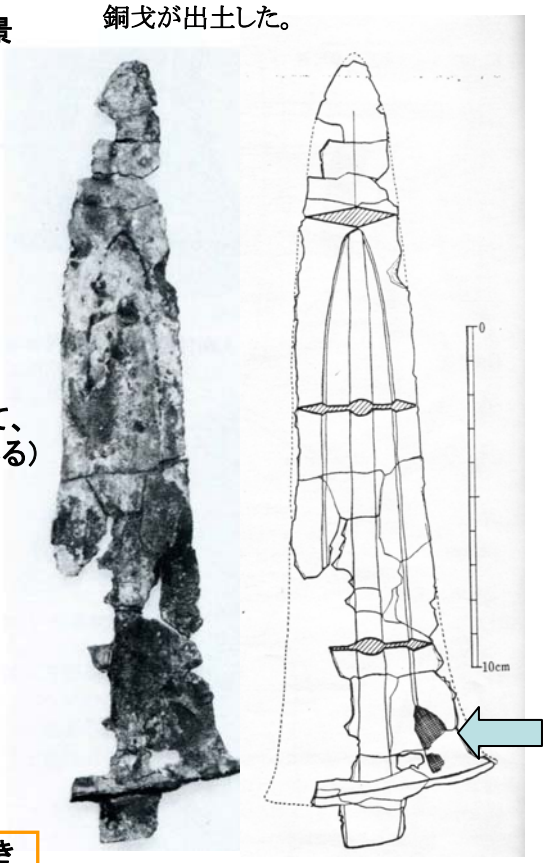


黒塗り部分は今回の発掘調査地区。地図の数字は昭和24年発掘時に出土した甕棺。2号甕棺から、絹が付着した銅戈が出土した。

木棺墓（木は腐って、すでに無くなっている）

出土した甕棺





昭和24年に出土した、日本最古の絹が付着した銅戈（矢印部分が絹）

古墳時代

徳永B遺跡第４次調査

西区大字徳永

徳永B遺跡は、JR九大学研都市駅の南側にある低平な台地の上にあります。古墳時代前期（4世紀～5世紀始め）頃の古墳2基が発見されました。 1基は直径約10mの円墳で、古墳には葺石（ふきいし：古墳の全面に石を積む）があったかもしれません。主体部はほとんど壊されていましたが、中から鉄製の刀と、この時期では非常に珍しい“かなはし”（鍛冶道具のひとつ：火ばさみ）状の鉄製品が出土しました。残りの 1基は直径8mの円墳で、主体部（墓の本体）は竪穴式石室と呼ばれるものです。

鍛冶（かじ）：火ばさみで持った鉄素材を熱しハンマーで叩いて形を整えて、鉄製品を造る作業。

発掘調査区全景

古墳1全景（左）

古墳1主体部(左写真中央部）
火ばさみの他、鉄刀などが出土した。

古墳2主体部

古墳1から出土した火ばさみ

古墳時代

金武古墳群第８次調査

西区大字金武地内

金武古墳群は、西区金武一帯に広がる古墳群で、総数100基を超す大古墳群です。今回はそのうちの21基を発掘調査しています。これだけ多くの古墳を一度に掘ることはほとんどなく、この時期の古墳文化を解明する上で、重要な調査です。時期的には6世紀後半から7世紀頃に築造された古墳群で、残念ながらほとんどがすでに盗掘されており、副葬品はあまり残っていませんでした。

Ｄ－８号墳･Ｄ－10号墳

Ｄ－11号墳

Ｃ－３号墳石室

Ｄ－11号墳遺物出土状況

飛鳥～
平安時代

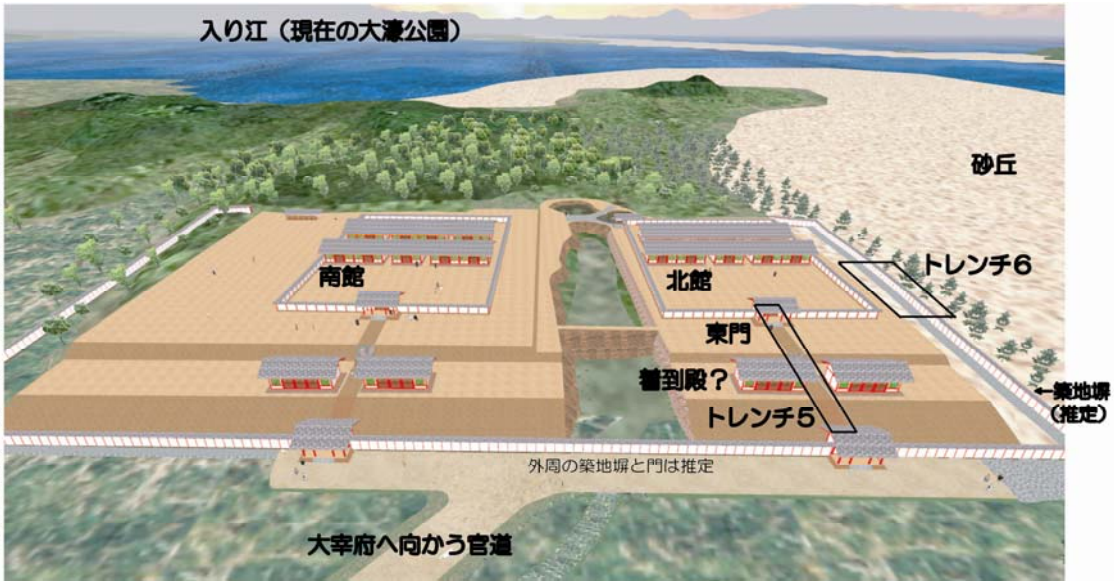
鴻臚館（こうろかん）跡第30次調査

中央区城内

鴻臚館は、昭和62年の発見以来、発掘調査を継続して行っています。今回の調査では、Ⅱ期（8世紀前半）の東門の確認調査を行ったほか、東門前の着到殿（受付所）と考えられる建物の一部を確認しました。そのほか、平安時代末から鎌倉時代の池や集落、福岡城築城頃の屋敷の境など、鴻臚館より後の時代の遺構が見つかりました。

鴻臚館跡平成24年度調査区位置図
Ⅰ期;7世紀後半　Ⅱ期;8世紀前半　Ⅲ期;8世紀後半～9世紀前半

トレンチ5全景



CGによる鴻臚館の復元イメージ（東から）
Ⅱ期（8世紀前半）

平安時代

女原笠掛遺跡第３次調査（女原瓦窯跡）

みょうばる かさ がけ

かわら かま あと

西区大字女原

女原瓦窯跡は平成23年度に発見されました。発見された3基の瓦窯からは、鴻臚館に葺かれた瓦と同じ文様の瓦が出土したことから、この瓦窯が。鴻臚館の瓦を焼いた窯であったことがわかりました。今宿周辺では、江戸時代から明治・大正時代にも「今宿三右衛門」窯など、瓦の生産を行っており、古代においても、この地で瓦製作が行われていたことがわかりました。

鴻臚館の瓦を焼いた窯で、天井部が落ちている以外は、ほぼ完全に残っていた窯跡3基が見つかりました。今年度は、昨年度の南側を調査し、新たに2基の瓦窯を発見し、あわせて5基以上造られていたことがわかりました。これらの瓦窯跡は、すべて埋め戻されて保存する方向で調整が進められています。

4号・5号瓦窯

4号瓦窯

5号瓦窯煙道部

平安時代

飯盛瓦経塚（がきょうづか）第１次調査

西区飯盛山頂上

福岡市西区所在の飯盛山(標高約384m)山頂で、大正13年（1924）7月、深さ1.3mの石囲いの中から多数の瓦経が出土しました。瓦経とは、平安時代後期に作られた、お経を粘土板に記して焼成したもの。仏教の教えが薄れていく末法（まっぽう）の時代が到来するという思想に基づいて、お経を後世に伝える目的で作られました。これを地中に埋めたものが瓦経塚です。大正13年に発見されたものは、福岡市の有形文化財に指定されています。

この時の正確な位置を把握するため、今回、発掘調査が行われました。その結果、直径約2m、深さ1.5mの穴を発見しました。中から、瓦経のほか平安時代の日本製土器（土師器：はじき）、中国製陶磁器などが出土し、大正時代に見つけた穴であることを確認しました。

調査区全景

「写了願主往西自書」と瓦の側面に書かれている。「経文を写し終わった後に、願主である「往西」（僧侶の名前）が、（この一文を）自ら書いた。」という意味。

出土した瓦経
法華経　無量義経　仁王経がある

鎌倉・室町
時代他

博多遺跡群第194次調査

博多区御供所町

博多駅前に広がる博多遺跡群は、中世（鎌倉・室町時代）博多商人の街の跡です。遺跡は弥生時代～平安時代の各種の遺構も多くありますが、特に平安時代末～戦国時代にかけて、日本を代表する貿易港を有した博多の街として全国的に著名です。大量の中国製陶磁器を始め、中国銭・西日本各地で作った土器など国際都市博多を代表する遺物が出土しています。今回の調査でも、中世の建物跡や石組遺構・井戸などが発見され、多くの中国製陶磁器や日本の土器などが出土しました。

石組遺構

建物の基壇

日本製土器（土師器：はじき）を集積した穴

福岡市内の展示・見学施設

福岡市博物館

福岡市の歴史・民俗に関する博物館　平成25年秋まで常設展示室は休室

地下鉄「西新」徒歩15分または西鉄バス「博物館北口」「博物館南口」すぐ
福岡市早良区百道浜3丁目1-1　　電話092-845-5011
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）・年末年始休館　開館時間 9:30～17:30（入館は17:00まで）

福岡市埋蔵文化財センター

埋蔵文化財に関する様々な展示

西鉄天神大牟田線「雑餉隈」下車徒歩15分または西鉄バス「板付中学校前」すぐ
福岡市博多区井相田2丁目1-94　　電話092-571-2921
毎週月曜日・年末年始休館　開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

赤煉瓦文化館

明治42年竣工の洋風建物。国指定重要文化財。福岡市文学館を併設

地下鉄「天神」徒歩10分または西鉄バス「天神4丁目」すぐ
福岡市中央区天神1-15-30　　電話092-722-4666
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）・年末年始休館　開館時間 9:00～21:00

金隈遺跡展示館

弥生時代の甕棺墓地を発掘時の状態で展示。国指定史跡。

西鉄バス「金隈遺跡前」徒歩5分
福岡市博多区金の隈1丁目39-52　　電話092-503-5484
年末年始休館　開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

板付弥生のムラ

日本最古の水田跡が見つかった板付遺跡の展示館。国指定史跡。

西鉄バス「板付団地第二」徒歩3分
福岡市博多区板付3丁目21-1　　電話092-592-4936
年末年始休館　開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

野方遺跡展示館

弥生時代から古墳時代のムラと墓地。国指定史跡。

西鉄バス「野方遺跡前」すぐ
福岡市西区野方5丁目11-25　　電話092-812－3710
年末年始休館　開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

博多小石塁遺構展示室

博多小学校建設時に見つかった元寇防塁状の石塁を展示。

地下鉄「呉服町」徒歩5分または西鉄バス「蔵本」すぐ
福岡市博多区奈良屋町1-38
年末年始を除く毎週土曜日のみ開室　開館時間 10:00～17:00

福岡城堀石垣展示施設

地下鉄空港線建設時に見つかった福岡城石垣が見られる。

地下鉄「赤坂」徒歩5分または西鉄バス「赤坂門」すぐ
福岡市中央区城内
年末年始を除く毎週土曜日のみ開室　開館時間 10:00～17:00

平尾山荘

野村望東尼の居宅。市史跡

西鉄バス「山荘通」徒歩5分
福岡市中央区平尾5丁目2-28
年中無休　開館時間 9:00～17:00

東光院

806年最澄開山の寺院。市史跡

西鉄バス「東光2丁目」徒歩10分
福岡市博多区吉塚3丁目20-38
年末年始休館　開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

「福岡の文化財」
ホームページもよろしくね
アドレス
http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp

平成24年度福岡市発掘調査
「総まくり」

2013（平成25）年3月2日
福岡市文化財部
福岡市中央区天神1-8-1
092－711－4667